

FACE-SYSTEM | F-POS

F-POS 導入マニュアル

- ① 端末セットアップ（MDM導入） ② 管理画面のセットアップ ③ 管理画面からQRの読み取り
④ スマホの設置イメージ ⑤ 管理画面のログイン・F-DATA接続・初期設定 ⑥ 動作確認（テスト）

端末セットアップ（前半）



画面の左上を
10回以上タップ！

① 開封して電源を入れる

指定機種（moto g06）を起動します。

② 言語画面で「左上を10回以上タップ」【重要】

「日本語」を選ぶ画面で、画面の左上を10回以上連続タップすると、QRコードの読み取り画面が表示されます。

③ Wi-Fiに接続する

店舗のWi-Fiネットワークを選び、接続します。

④ MDM登録用QRコードを読み取る

当社発行のQRを読み取ると、以降のセットアップは自動で進みます。



QRを読み取る

端末セットアップ（後半）

⑤ 案内はそのまま進める（自動セットアップ）

「組織が所有するデバイス」などの画面は、内容を確認して「次へ／同意して続行」で進めます。

⑥ 「F-DATA」が自動でインストール

必須アプリ「F-DATA」が自動で入ります（数分）。表示・ナビの設定は「次へ」で進めてOK。

⑦ 「完了しました」→「完了」

⑧ F-DATAが起動し、設置場所QRの読み取り待ちになります

この後、②の管理画面セットアップで発行するQRを、この端末で読み取ります（→③）。



F-DATA自動インストール



QR読み取り待ち画面

第②章 管理画面のセットアップ (F-DATA)

設置場所を作成する

① F-DATA管理画面にログイン

ユーザーID・パスワードでログインします。

② 「設置場所」を新規作成

左メニュー「設置場所」→「新規作成」。名称（例：POS レジ1）を入力して「保存」します。POS側のレジ名と一致させる必要はありません。

⚠ スマートフォンが2台以上のとき

レジ（設置場所）ごとに1つずつ、台数分の設置場所を作成します。

F-DATA



管理画面

ユーザーID
example@example.com

パスワード
パスワードを入力

ログイン

① ログイン画面



👤 設置場所の作成

名前
セルフレジ1

説明

店舗入口・出口

キャンセル 保存

② 設置場所を新規作成（名称を入力して保存）

第②章 管理画面のセットアップ (F-DATA)

認証端末を作成する (顔検出の設定)

背面カメラをOFF →

③ 「認証端末」を新規作成 (台数分)

〔認証端末〕→〔新規作成〕。スマホの台数分だけ作成します。

【重要】④ 設置場所を選択して接続

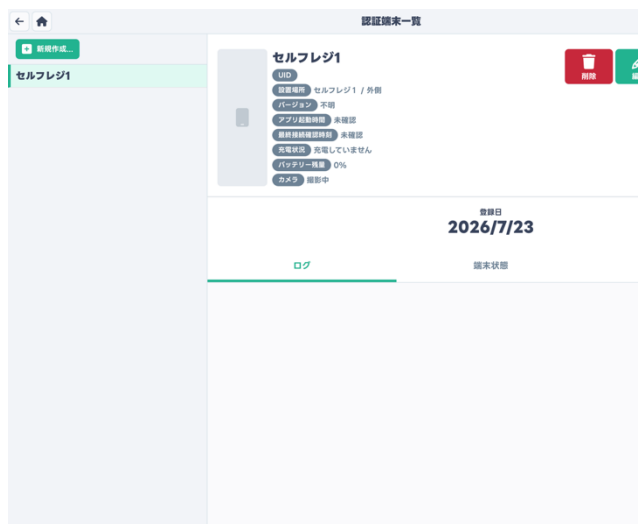
②で作った設置場所を、端末作成画面の「設置場所」で必ず選びます。これで設置場所と端末がひも付きます。

【重要】⑤ 「背面カメラの利用」をOFF

前面カメラで撮影されます。客側に顔が映るため、防犯・犯罪抑止に有効です。

⑥ 顔検出サイズを調整して保存

実際にスマホに映る距離を確認しながら、検出顔サイズ・エリアを決めます。設定後〔保存〕で一覧に登録されます (→ ③章でQR読取)。



端末が一覧に登録される

顔検出の設定画面

第③章 管理画面からQRの読み込み

端末のQRコードを読み取る

① 認証端末のQRコードを表示

F-DATA管理画面で、②で作成した認証端末のQRコードを表示します。

② スマホでQRを読み取る

①章の最後で「QR読み取り待ち」になっているスマホで、このQRを読み取ります。

③ 設置場所・端末が確定

読み取ると、その設置場所・端末としてスマホが確定し、顔認証が利用可能になります。

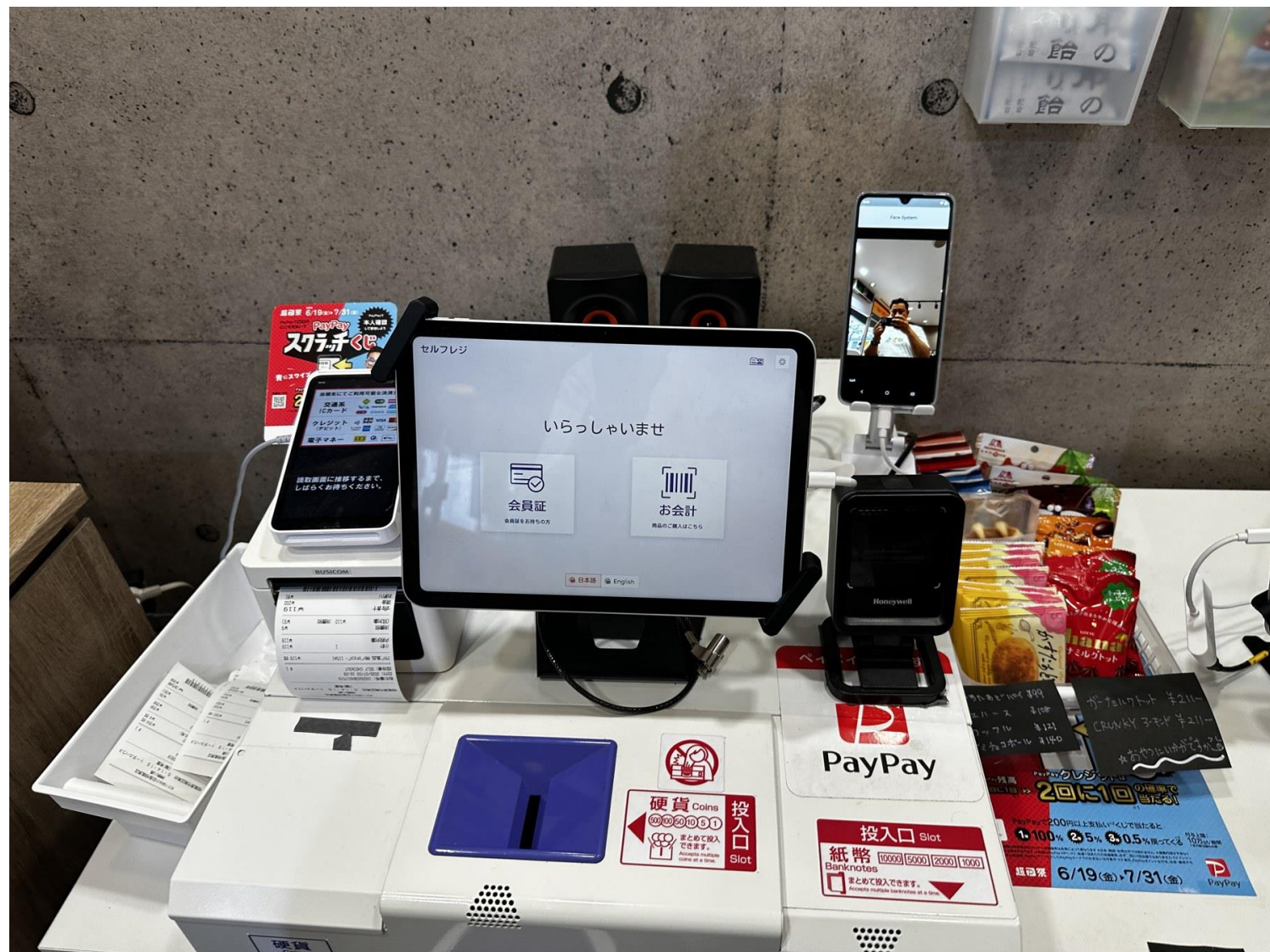


① 管理画面：端末QRを表示



② スマホで読み取る

設置イメージ（実際の設置例）



設置のポイント

- POS／セルフレジの前、来店客の顔が正面から入る位置にスマホを設置します。
- 前面カメラで撮影するため、画面に客の顔が映ります（防犯・犯罪抑止）。
- 実際に映る距離を見ながら、②で設定した検出顔サイズを微調整します。
- 顔がフレームから切れない高さ・角度に固定します。

管理画面へのログイン

スマレジ利用店舗：「スマレジでログイン」（メール登録・パスワード設定は不要）

- ① <https://app.face-system.jp/> を開く
- ② 「スマレジでログイン」を押す
- ③ スマレジのアカウントでサインインし、アクセスを許可する

スマレジ以外の店舗：メールに届く6桁コード（パスワードなし）

メールアドレスを入力し「確認コードを送る」→ 届いた6桁の数字を入力して「ログイン」

スマレジでログインについて

- ・アプリマーケットで利用開始すると店舗は自動登録されます（登録作業は不要）
- ・スマレジ管理者＝オーナー、それ以外＝スタッフ（権限はスマレジ側に追従）
- ・スタッフを増やす操作は不要。スマレジのアカウントでログインするとメンバーになります
- ・6桁コードは有効期限10分／5回まで／再送60秒に1回。差出人は no-reply@face-system.jp

F-POS ログイン

スマレジでログイン

スマレジ以外の店舗

メールアドレス

owner@example.com

確認コードを送る

確認コード（6桁）

1 2 3 4 5 6

ログイン

※ スマレジ利用店舗は上のボタンからログインします

F-DATAとの接続（最重要・新規）

接続するまで顔ログの突合は始まりません。店舗ごとに、自店舗のF-DATAアカウントで接続します。

- ① オーナーでログインし【初期設定】を開く
- ② 「F-DATAとの接続」に、店舗のF-DATAアカウントのメール・パスワードを入力
- ③ 【接続する】

ご確認ください

- ・組織IDの入力は不要（サインインしたアカウントから接続先が自動で決まる）
- ・パスワードは保存しません（接続時に一度だけ使用）
- ・「接続済み」と組織名・接続アカウントが表示 → 自店舗のものか必ず確認
- ・接続できると自動的に突合の対象になります
- ・F-DATA側でPW変更・無効化すると接続は切れる → 同じ画面で接続し直す
- ・接続用アカウントは検出口ログを読める権限が必要（不足時はエラーで保存されません）

初期設定 / F-DATAとの接続

F-DATAのメールアドレス

owner@fdata.example.com

パスワード

● ● ● ● ● ● ● ●

接続する

✓ 接続済み

接続先の組織：XXXXXXX

初期設定（POS・F-DATA・レジの設定）

① ご利用のPOSレジを選択

ここで取引の取り込み方が決まります。スマレジ=API自動連携／その他POS=CSV取込。

② F-DATAとの接続（→ 前ページで完了させます）

接続すると、②章で作った設置場所が選択肢に出ます。

③ 取引CSVを読み取ってレジを確認

POSから書き出したCSVを1本読み取ると、レジ（端末名）が並びます。取り込みは行いません。

④ 各レジのカメラを選んで保存

レジが1台でも設定します。未設定のレジは突合されません。※スマレジ利用店舗は設置場所を一覧から選ぶだけです。

初期設定（導入時のセットアップ）

① ご利用のPOSレジ

その他POS（CSV取込）▼

② F-DATAとの接続

✓ 接続済み ○○店

③ 取引CSVを読み取る（取り込みません）

取引履歴.csv [読み取る]

④ レジ⇄カメラ対応表

レジ（端末名）	設置場所（F-DATA）
セルフレジ1	POS レジ1
セルフレジ2	POS レジ2

対応表を保存する

初回ログイン後の「はじめに」と権限

初回ログインは「はじめに」が表示されます

はじめに

☐ ご利用のPOSレジを選ぶ

[初期設定へ]

☐ F-DATAと接続する

[初期設定へ]

☐ レジとカメラを対応づける

- ・ 済んだ項目には ✓ が付きます
- ・ 突合が一度実行されると通常のダッシュボードに切り替わります
- ・ スマレジ以外は、取引CSVを読み取ってレジごとにカメラを対応づけます

権限（オーナー / スタッフ）

操作	オーナー	スタッフ
ダッシュボード・解析の閲覧	✓	✓
初期設定・設定の変更	✓	－
CSVアップ・紐付けの実行	✓	－
スタッフの招待・無効化	✓	－

- ・ スタッフはオーナーが［スタッフ］タブから招待します（当社は関与しません）
- ・ スマレジ利用店舗はスマレジ側の権限に追従（スマレジ管理者＝F-POSオーナー）
- ・ 退職者などはオーナーが無効化できます

「ログインしたのに数字が出ない」を防ぐための画面です。

第⑥章 動作確認（テスト）

設定完了後の動作テスト

設置・設定が終わったら、専用スマホの前で実際に試してチェックします（既存の画面だけで確認できます）。

1. 顔認証のテスト

- ☐ 専用スマホの前に立つ
- ☐ F-DATA「全体ログ／リアルタイム」に顔検出が表示される（設置場所名・時刻が正しい）

2. POS連携・突合のテスト

- ☐ テスト取引を1件打つ（スマレジ以外は取引CSVを取り込む）
- ☐ 「はじめに」の［今すぐ突合を実行して確認する］を押す（2回目以降はホームの［今すぐ紐付けを実行］）
- ☐ ログに「取引紐付け 1・エラー0」／「取引一致」「ユニーク人物」が増える

3. リピーター判定のテスト

- ☐ 同じ人がもう一度：立つ → 取引 → 再実行
- ☐ 「リピーター」にカウントされ、会員コード（FD…）が付く（スマレジ利用店舗はスマレジ会員にも反映）

✓ **すべてチェックできれば導入完了です。**

翌日以降は毎日自動で突合されるため、日々の操作は不要です。

うまくいかない時

顔検出が出ない

→ 設置場所QR（③章）が読めているか、「背面カメラの利用」OFF・検出顔サイズ（②章）を確認します。

取引一致が増えない

→ 初期設定のレジ⇄カメラ対応表（⑤章）で、そのレジにカメラが設定されているかを確認します。未設定のレジは突合されません。

解決しない場合は当社サポートへご連絡ください。

困ったときは

MDMやF-DATAの初期設定でご不明な点があれば、当社サポートまでご連絡ください。導入をサポートいたします。

サポート : <https://app.face-system.jp/support>

お問い合わせ : <https://face-system.jp/contact.html>

※ 端末はキオスクモードで動作し、本サービス以外の用途には使用できません。指定機種以外では動作しません。

運用手順・管理者ログイン（当社側）

運用管理者（当社）のログイン

1. <https://admin.face-system.jp/login/admin> を開く（店舗向けの app.face-system.jp からは入れません）
 2. メールアドレスとパスワードを入力して [次へ]
 3. メールで届いた6桁のコードを入力して [ログイン]
- ・パスワードは12文字以上／10回連続失敗で15分ロック

新規店舗の受け入れ

1. 管理コンソール（/admin）「店舗」→ [店舗を登録]（識別子は自動採番）
2. 店舗詳細の [初期設定の代行] でF-DATA接続・POS種別・レジ⇄カメラ対応表を設定
3. [店舗の画面を見る] で突合を確認してから [オーナーを招待]

注意

- ・識別子は後から変更できません（顔データの対応表の保存先になるため）
- ・スマレジ店舗はアプリのインストール通知で自動登録されます（手動登録・招待は不要。スマレジでログイン）
- ・会社／住所／契約書／請求は CRM（crm.face-system.jp）が正。CRM店舗IDの紐付けは任意